

令和5(2023)年度指定管理鳥獣捕獲等事業評価報告書

(イノシシ)

渡良瀬遊水地連携捕獲協議会

基本評価シート（イノシシ）

1. 事業の基本情報

事業名	令和5(2023)年度指定管理鳥獣捕獲等事業実施計画策定等事業 (生息状況調査)		
	令和5(2023)年度効果的捕獲促進事業 (渡良瀬遊水地広域捕獲計画に基づく捕獲)		
都道府県名	埼玉県、群馬県、茨城県、栃木県	担当者部・係名	栃木県環境森林部自然環境課野生鳥獣対策班
担当者名	郡司 圭	担当者連絡先	TEL 028-623-3261
捕獲実施事業者	株式会社 W Sa T (認定を受けている・ 受けていない)	予算額	31,405,330 円
		予算額の内捕獲に 要する経費	1,980,000 円

○令和5(2023)年度における生息等の状況及びこれまでの個体群管理の取組み

〈指定管理鳥獣捕獲等事業の実績〉

事業目標 (目標頭数などの数値目標)	実施結果	
	捕獲頭数	目標達成率
捕獲目標頭数 20 頭	28 頭	140%

〈生息等の状況及びその他の捕獲実績〉

推定生息頭数	特定計画管理目標	目標生息頭数
狩猟捕獲数	許可捕獲(有害)	許可捕獲(個体数調整)

○これまでの個体群管理の取組み（都道府県単独事業）

--

2. 広域捕獲計画に基づく捕獲の実施概要

項目	概要
事業背景・目的	<p>渡良瀬遊水地は、茨城県、栃木県、群馬県及び埼玉県との4県境にまたがる約3,300haの日本最大級の遊水地である。3つの調整池以外はヨシ原を主体とする湿原環境となっており、多様な動植物が生息する生態系が形成されている。大部分が国指定の鳥獣保護区となっているほか、平成24年には国際的に重要な湿地としてラムサール条約に登録されている。</p> <p>一方、令和元(2019)年度に実施したドローン調査によれば、遊水地内部に205頭のイノシシが確認されており、既に周辺市町への出没や農業被害が発生するなどの影響が出ている。遊水地には渡良瀬川、思川、巴波川が接続しており、増加したイノシシがこれらの河川敷を伝い、上下流へと分布を広げていく可能性も考えられる。</p> <p>このため、茨城県、栃木県、群馬県及び埼玉県は、渡良瀬遊水地におけるイノシシ対策を推進することを目的として、令和4(2022)年度に渡良瀬遊水地連携捕獲協議会を設立し、生息状況調査及び捕獲に着手した。</p> <p>【選択欄】</p> <p><input type="checkbox"/> 特定計画の管理目標に不足する捕獲数を高密度地域で上乘せした。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 分布拡大防止を目的として生息域の外縁で捕獲を実施した。</p> <p><input type="checkbox"/> 効果的な捕獲手法の開発を行なった。</p> <p>※事業実施目的に最も近いものを1つ選択。</p>
人材育成の観点	<p><input type="checkbox"/> 人材を育成するための配慮、取組がなされている。</p>
実施期間	<p>令和5(2023)年10月25日～令和6(2023)年3月20日 (うち捕獲を行う期間：令和5(2023)年12月4日～令和6(2024)年3月15日)</p>
実施区域	<p>渡良瀬遊水地の区域及び接続河川の河川敷区域</p>
関係機関との協力	<p>関係市町及び利害関係者の賛成を得て事業を実施している。</p>
事業の捕獲目標	<p>(140%達成) = (28頭 実績値) / (20頭 目標値)</p>
捕獲手法	<p>【銃猟】</p> <p><input type="checkbox"/> 誘引狙撃 <input type="checkbox"/> 巻き狩り <input type="checkbox"/> 忍び猟</p> <p><input type="checkbox"/> モバイルカリング <input type="checkbox"/> 夜間銃猟</p> <p><input type="checkbox"/> その他(捕獲個体の止めさし)</p> <p>【わな猟】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> くくりわな <input checked="" type="checkbox"/> 箱わな <input type="checkbox"/> 囲いわな(ICT)</p> <p><input type="checkbox"/> その他</p>
捕獲個体の確認方法	<p><input type="checkbox"/> 個体の身体の一部(尾)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 写真(捕獲個体に通し番号をスプレーし撮影)</p> <p><input type="checkbox"/> その他(忍び猟については目視確認)</p>
捕獲個体の処分	<p>捕獲個体の処分について</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 全て焼却又は埋設を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 一部、食肉等への活用を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 一部、放置を認めている。</p>
環境への影響への配慮	<p>わなによる錯誤捕獲について</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 錯誤捕獲の情報を収集している。</p> <p><input type="checkbox"/> 錯誤捕獲の実態は不明である。</p> <p>わなによる錯誤捕獲の未然防止について</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 錯誤捕獲の防止対策をしている。 (内容：くくりわなの構造に関する対策)</p>

	<p>※輪の直径が12 cm以内で、締付け防止金具を装着したものであり、ワイヤーの直径が4 mm以上であって、かつ、よりもどしを装着</p> <p><input type="checkbox"/> 錯誤捕獲の防止対策はしていない。</p> <p>鳥類の鉛中毒等について</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 鳥類の鉛中毒症例がない。</p> <p><input type="checkbox"/> 鳥類の鉛中毒症例が確認されている。</p> <p>鉛製銃弾について</p> <p><input type="checkbox"/> 全て鉛製銃弾を使用している。</p> <p><input type="checkbox"/> 一部、非鉛製銃弾を使用している。</p> <p><input type="checkbox"/> 全て非鉛製銃弾を使用している。</p>
安全管理の体制	表示板等により注意喚起を行った。
捕獲従事者の体制	<p>【雇用体制】</p> <p>捕獲従事者数：6人 (内訳)</p> <p>正規雇用者：6人、期間雇用者：0人 日当制：0人</p>

3. 令和5(2023)年度指定管理鳥獣捕獲等事業の評価

○指定管理鳥獣捕獲等事業の達成状況の評価について

1. 捕獲に関する評価及び改善点	
【目標達成】	評 価： 目標達成率は140%であった。くくりわなでは23頭、箱わなでは5頭捕獲した。
	改善点： くくりわなの設置場所を変える、箱わなの錯誤捕獲の発生を減らす等により、更に捕獲頭数の上積みを図ることができる。
【実施期間】	評 価： 捕獲を実施できるのは渇水期である冬期のみであり、適切である。
	改善点： 特になし。
【実施区域】	評 価： 今後イノシシの生息拡大が懸念される地域であることから、適切と思われる。
	改善点： 特になし。
【捕獲手法】	評 価： 観光客などに対する安全確保の点から銃の使用は難しいため、わなを用いた捕獲が適切である。
	改善点： 特になし
2. 体制整備に関する評価及び改善点	
【実施体制】	評 価： 捕獲従事者について、必要な人数を確保するとともに、2名以上の体制で安全に捕獲を実施しており、特段の問題はないと思われる。
	改善点： 特になし

【個体処分】	<p>評 価： 捕獲個体は、すべて焼却処理しており、問題はないと思われる。</p> <p>改善点： 特になし</p>
【環境配慮】	<p>評 価： 錯誤捕獲があった場合には、ニホンジカ、アライグマを除き原則放獣することとした。</p> <p>改善点： 特になし</p>
【安全管理】	<p>評 価： 表示板等による注意喚起等の安全対策を講じていたが、捕獲作業中に1件人身事故（捕獲従事者）が発生した。</p> <p>その他、地域住民からの苦情はなく、適切に実施した。</p> <p>改善点： 捕獲作業中の事故防止に向け、従事者の安全確保を強化していく。</p>
3. その他の事項に関する評価及び改善点	
<p>評 価： 4県が連携して捕獲や調査に取り組んだ結果、令和元年度から生息数が約2.4倍になっていることが明らかになった。また、渡良瀬遊水地内でのイノシシの分布傾向など、イノシシの生息拡大防止に向けて、有用な情報を取得し共有することができた。</p>	
<p>改善点： 特になし。</p>	
<p>4. 全体評価</p> <p>令和5(2023)年度は、渡良瀬遊水地連携捕獲協議会として、初めて県境地域における捕獲を実施した。</p> <p>くくりわな猟では、今回は現場に自生する立木などアンカーとして利用できる場所が限定されていたが、人工アンカーなども活用することでわな設置の候補地を増やすことができ、また、捕獲の可能性がより高い場所に設置することができることから、捕獲効率の向上に繋げることができると考えられる。</p> <p>箱わな猟では、タヌキを錯誤捕獲した際に箱わな内部でした糞尿がイノシシ捕獲の妨げになった可能性があるため、今後はトリガーの高さの調節を行うなど、錯誤捕獲の発生を減らすことで、捕獲効率の向上に繋げることができると考えられる。</p> <p>また、自動通報システムを活用し見回りを省力化することで、節約した時間を周辺の踏査やわなの移動に使うことができるため、捕獲効率の向上に繋がると考えられる。</p> <p>捕獲の実施体制については特段の問題はなく、安全かつ適切に事業を実施できたと考えられる。</p>	

○第二種特定鳥獣管理計画の目標に対する、本事業の寄与状況について

本事業による捕獲頭数は28頭であり、令和5(2023)年度の捕獲頭数6,330頭の0.44%程度であるが、第二種特定鳥獣管理計画の捕獲目標(13,000頭)への上積みに寄与した。
 なお、渡良瀬遊水地連携捕獲協議会で実施した生息状況調査や捕獲の情報を共有することにより、構成県の指定管理鳥獣等捕獲事業の捕獲強化に寄与した。

4. 必須となる記録項目

(1) データの整備状況

ア) 基礎となる記録項目の整備状況

指定管理鳥獣捕獲等事業において整備している情報の項目にチェックをつける。

項目	整備状況	備考
①捕獲数・目撃数・捕獲努力量等の位置情報	<input type="checkbox"/> 行政区域(都道府県・市町村)ごと <input type="checkbox"/> 事業区域ごと <input checked="" type="checkbox"/> 5kmメッシュ <input type="checkbox"/> 1kmメッシュ <input type="checkbox"/> 捕獲地点(緯度経度) <input type="checkbox"/> 捕獲等に関する位置を記録していない	
②捕獲数	<input checked="" type="checkbox"/> 捕獲した個体の総数 <input checked="" type="checkbox"/> 雌雄の別 <input checked="" type="checkbox"/> 幼獣・成獣の別 <input type="checkbox"/> その他捕獲した個体に関する情報 ()	
③目撃数	<input type="checkbox"/> 作業の従事者が目撃した個体の総数	
④捕獲努力量	<input type="checkbox"/> 銃猟: のべ作業人日数※ <input checked="" type="checkbox"/> わな猟: わな稼働日数 (わな稼働日数=わな基数×稼働日数)	

※のべ作業人日: 捕獲作業期間中に捕獲に従事した作業人数の合計。事前調査や下見に費やした作業の人日数は除く。

イ) 捕獲に関する概況地図の作成の可否

項目	作成できる概況図（地図）についてチェック
捕獲位置の地図	<input checked="" type="checkbox"/> 5 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 1 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 地点（緯度経度）地図 <input type="checkbox"/> 捕獲位置の地図を作成できない
CPUE の地図	<input checked="" type="checkbox"/> 5 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 1 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 地点（緯度経度）地図 <input type="checkbox"/> CPUE の地図を作成できない
SPUE の地図	<input type="checkbox"/> 5 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 1 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 地点（緯度経度）地図 <input type="checkbox"/> SPUE の地図を作成できない
概況図を作成する 上での課題	特になし

(2) 実施結果（必須となる記録項目）

ア) 捕獲努力量に関する事項

①銃器による捕獲

外業の人日数総数^{※1}：0 人日

事前調査人日数概数^{※2}：0 人日

出猟（捕獲作業）人日数：0 人日

項目	令和 5 (2023) 年 (事業年度の値)	令和 4 (2022) 年 (前年度の値)	増減の傾向
捕獲努力量（銃猟） のべ人日数	一人日	一人日	<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※1:事前調査人日数概数と出猟（捕獲作業）日数の合計

※2:事前調査人日数概数は、捕獲作業直前の下見・調査を含まない。

②わなによる捕獲

外業の人日数総数^{※1}：192 人日

事前調査人日数概数^{※2}：0 人日

出猟（捕獲作業）人日数：192 人日

項目	令和 5 (2023) 年 (事業年度の値)	令和 4 (2022) 年 (前年度の値)	増減の傾向
捕獲努力量（わな猟） わなの稼働総数 (わな基×日数)	4,800 基日	2,660 基日	<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※1:事前調査人日数概数と出猟（捕獲作業）人日数の合計

※2:事前調査人日数概数は、捕獲作業直前の下見・調査を含まない。

イ) 捕獲に関する結果

①銃器による捕獲

項目	令和5(2023)年 (事業年度の値)	令和4(2022)年 (前年度の値)	増減の傾向
① 捕獲数	頭	頭	<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
② 目撃数	頭	頭	<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
③雌雄比 (雌捕獲数/全捕獲数)	% (頭/ 頭)	% (頭/ 頭)	<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
④幼獣・成獣比 (幼獣数/全捕獲数)	% (頭/ 頭)	% (頭/ 頭)	<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

令和4(2022)年度指定管理鳥獣捕獲等事業における捕獲手法別(銃器)の捕獲実績

捕獲手法	捕獲実績	作業人日数 ^{※1}	CPUE ^{※2}	SPUE ^{※3}
<input type="checkbox"/> 誘引狙撃	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 巻き狩り	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 忍び猟	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> モバイルカリング	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 夜間銃猟	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> その他 ()	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※1：作業日数には捕獲を実施していない誘引期間は含まない。

※2：CPUE=捕獲数/のべ人日数

※3：SPUE=目撃数/のべ人日数

① わなによる捕獲

項目	令和5(2023)年 (事業年度の値)	令和4(2022)年 (前年度の値)	増減の傾向
① 捕獲数	28 頭	20 頭	<input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
②雌雄比 (雌捕獲数/全捕獲数)	36% (10 頭/28 頭)	45% (9 頭/20 頭)	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少
③幼獣・成獣比 (幼獣数/全捕獲数)	18% (5 頭/28 頭)	45% (9 頭/20 頭)	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少

令和4(2022)年度指定管理鳥獣捕獲等事業における捕獲手法別（わな）の捕獲実績

捕獲手法	捕獲実績	わな稼働総数※ ¹	CPUE※ ²
<input checked="" type="checkbox"/> くくりわな	23 頭	4,000 基日	0.006 頭/基日 <input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input checked="" type="checkbox"/> 箱わな	5 頭	800 基日	0.006 頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 囲いわな	頭	基日	頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> その他 ()	頭	基日	頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※1:わな稼働総数には捕獲を実施していない誘引期間は含まない。

※2:CPUE=捕獲数/わな稼働日数

※CPUE、SPUE は前年度の指定管理鳥獣捕獲等事業と比較して、「増加」「減少」をチェックする。

エ) 捕獲個体の適切な処理

処理にかかる人工概数： 2人・時間

処理した個体のうち、食肉等への活用した個体の数量概数： 0 個体

適正な捕獲が実施されたかを確認する手法

わな猟によって捕獲した個体について、捕獲個体の写真（通し番号をスプレー）等により捕獲個体を確認した。

(別添)

捕獲に関する概況地図（イノシシ）

- 図－1 令和5(2023)年度指定管理鳥獣捕獲等事業 捕獲位置
- 図－2 令和5(2023)年度指定管理鳥獣捕獲等事業 CPUE（くくりわな）
- 図－3 令和5(2023)年度指定管理鳥獣捕獲等事業 CPUE（箱わな）

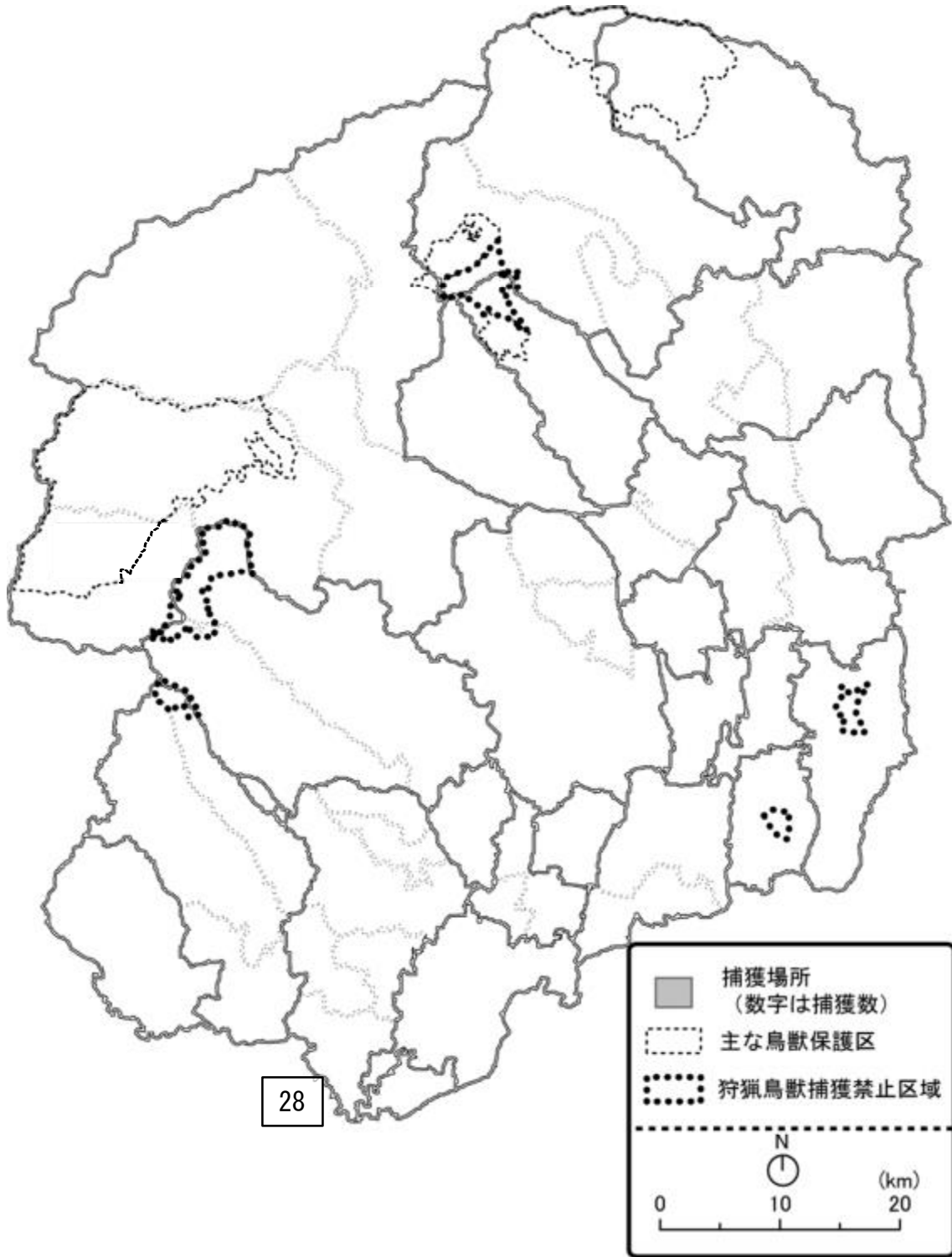
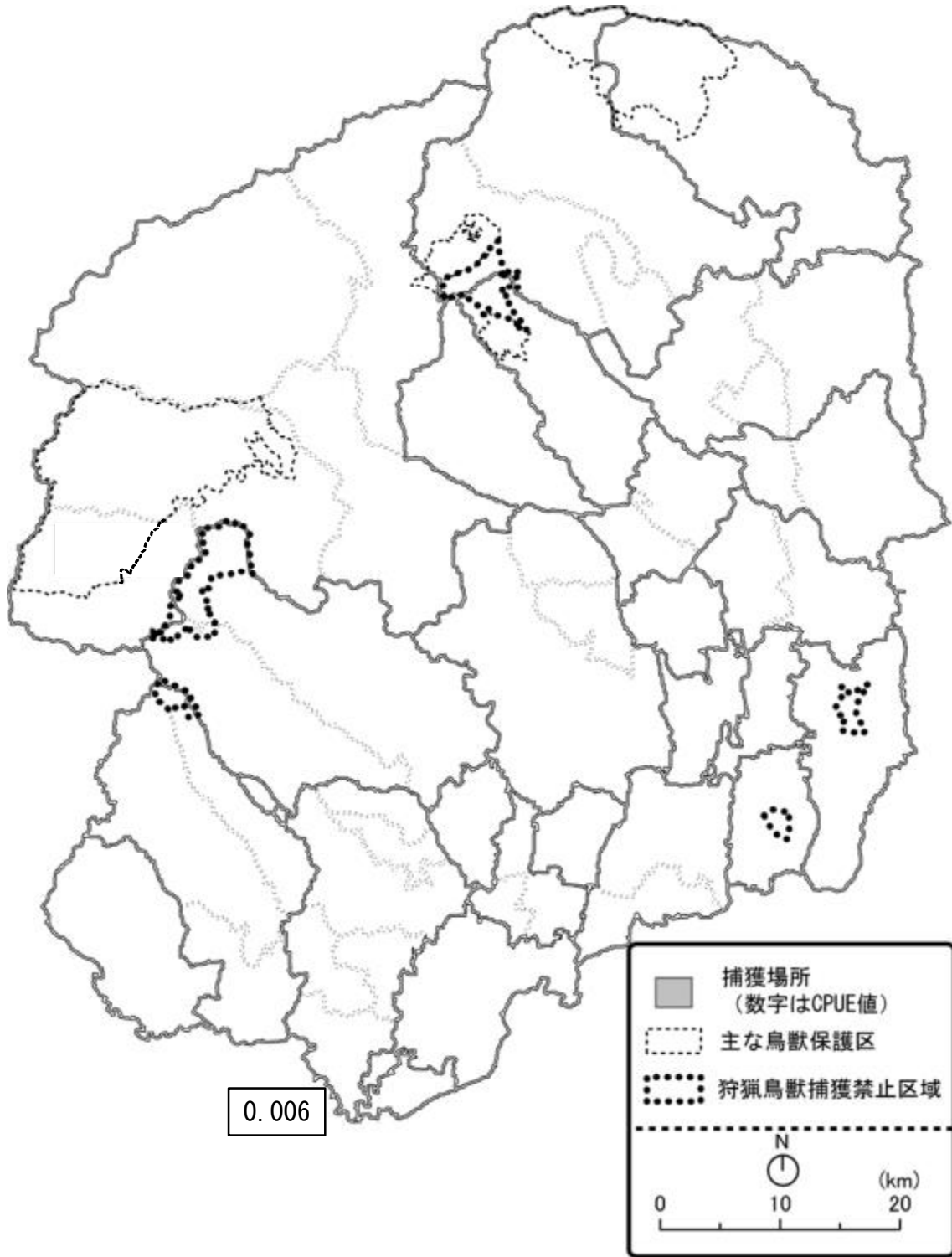


図-1 令和5(2023)年度指定管理鳥獣捕獲等事業 捕獲位置



図一 2 令和 5 (2023) 年度指定管理鳥獣捕獲等事業 CPUE (くくりわな)

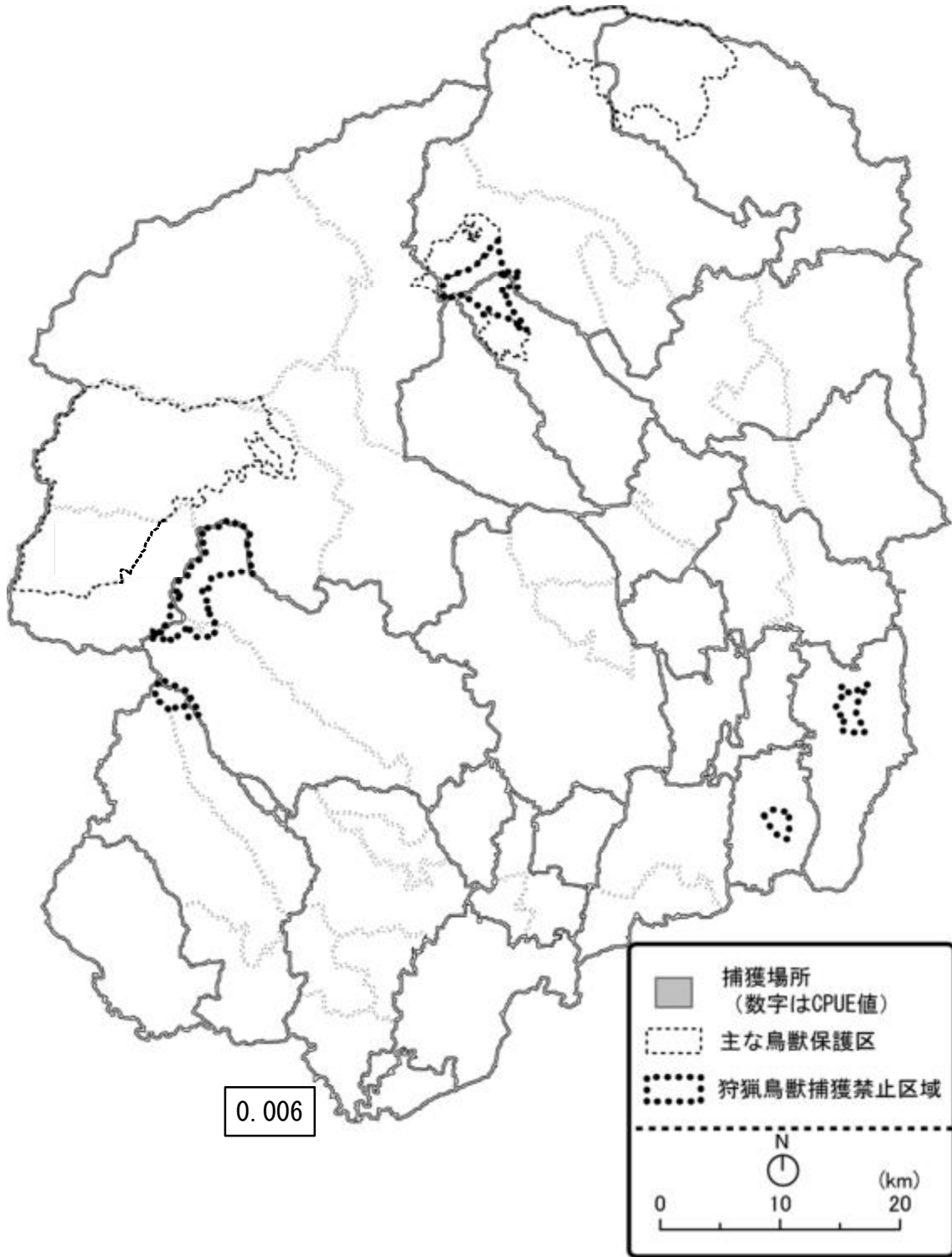


図-3 令和5(2023)年度指定管理鳥獣捕獲等事業 CPUE(箱わな)